第１章　近代日本の形成　　１　国際情勢の変化と明治維新
１　アジア世界の変動　（p.30～31）

アジアの国際秩序

・〔　　〕中心の国際秩序
　東アジア，東南アジアの各国・各民族は〔　　〕（清）を中心にたがいに交易
→各国は清の皇帝から国王に任命され，従属（〔　　〕体制）
→〔　　〕貿易の形式
　各国の利益が大きい

列強のアジア進出

・背景に〔　　〕の進展
→製品を大量生産するため大量の〔　　〕が必要
→大量生産した製品を売るため大規模な〔　　〕が必要
→南アジア，東南アジア，東アジアに進出

アヘン戦争と清の危機

・1840 年　〔　　〕戦争開始
清とイギリスの戦い
背景にイギリス，インド，清の〔　　〕
　清にアヘンが流入→〔　〕がイギリスに流出
　→清国内が混乱
　　↓
　技術の差もありイギリスが勝利
・1842 年　〔　　〕条約
　清はイギリスに〔　　〕を割譲
　広州，上海などを開港
・1856 年　〔　　〕事件
→戦争開始
　　清 vs イギリス・フランス
→技術差もありイギリス・フランスが勝利
・1860 年　〔　　〕条約
　清はイギリスに〔　　〕半島を割譲

列強のアジアでの勢力（19 世紀）

・イギリス
　〔　　〕，マレー半島，香港，九竜半島
　　マレー半島＝現在のマレーシア，シンガポール
・フランス
　〔　　〕半島
　　＝現在のベトナム，ラオス，カンボジア
・ロシア
　〔　　〕，黒竜江以北